



学校教育目標 「自ら考え行動し、仲間とともに豊かな社会をつくる  
~つなげる力・まなぶ力・つくる力~

No.18

# 庄内西小学校だより



令和6年(2024年)11月25日発行

校長 黒木優一

カラー版は『<http://www.toyonaka-osa.ed.jp/cms/shonai-n/>』をご覧ください。

## 《庄内よつば学園開校に向けて》

3小学校(庄西小・庄南小・千成小)と1中学校(七中)の教職員が月1回以上合同部会や合同研修会を行ったり、児童会同士が交流したりするなど、庄内よつば学園開校に向けていろんな取り組みが進んでいます。



### □「標準服」について

- ・サンプル(3パターン)が完成
- ・サンプルについて、本校の計画委員会の児童と市教委が意見交換
- ・中学生と5・6年生を対象にアンケートを12月に実施予定
- \*サンプルを個人懇談中(12/16~12/20)に本館3階つどいの部屋にて展示予定

### □「校歌」について

- ・【楽曲完成】作詞:相花奈音さん(大阪音大卒)、作曲:西村由紀江さん(ピアニスト)
- ・七中で合唱隊を組織し、年明けに大阪音大でレコーディング予定
- ・各校にて校歌完成披露会を予定【庄内西小-3/3(月)4限:体育館】

### □「校章」について

- ・3小1中の全校児童・生徒による投票の結果、下表②のデザインに決定

番号	①	②	③	④	⑤
校章案					
意味	7の部分は、カタカナの「ト」になって、「ト」が4つあり、その内側に庄内があり、全体の形がよつばのようだから、豊中庄内よつば!	「ここが一番!!」っと思えるような学校にしたい。答をつけたら、それぞれの個性が集まる場所で思いやりのある!	まわりのまるは、やわらかいイメージにするためです。この文字は、4校の学校がよつばになるので、それをイメージしました。	各校の個性などが出て華やかな学校になってほしいので、庄内よつば学園のよつばと各校の校章のデザインの一部をとって書きました。	学校名に四葉草が入っているため、四葉草のクローバーをもとに作りました。4校の生徒たちが、みんな仲良く助け合っているように書きました。花びらに書かれたアイコンは、四葉草のクローバーの花言葉で「愛・健康・幸福・希望」という意味がこめられています。

※細かなデザインは、少し変更となる可能性があります。

令和6年(2024年)9月 豊中市教育委員会事務局 学校教育課

※その他(学校行事、時間割、カリキュラム、生徒指導や学習指導など)についても、部会や会議を通じて検討➡決定されています。

## 《音楽発表会の開催について》

今年度から学習発表会を音楽発表会として開催する予定ですが、「劇」を楽しみにしていたのに…」「なんで劇はやらないんですか?」というお声を保護者の方より多数いただいております。



### 学校行事について知っていますか?

学校行事は、『特別活動』に位置付けられています。国語、社会、算数…などと同じように特別活動にもそれぞれの学年でやるべき内容と授業時数が決められていますが、なんと特別活動に割り当てられた時数は年間35時間(週1時間)しかありません。しかもその35時間は学級活動(話し合い活動や〇〇会などの企画実行など)を行います。

つまり、学校行事自体は教科(特別活動含む)の時間に+αしながら行っている教育活動と言えます。したがって、+αの時間に余剰がないと学校行事に多くの時間をさくことができないのが現状です。(もちろん、入学式や終業式、卒業式などの儀式や二測定・検診、避難訓練など、子どもたちにとって欠かせない行事も多くあります。)

平成14年から完全学校週5日制にともなって土曜の授業がなくなり、授業時数は大幅に少なくなりました。それに伴って+αの時数も大幅に少なくなっています。

### なぜ行事は精選されているのか?

学校行事は子どもたちに大きな教育的効果をもたらす一方で、以下のような点も問題視されてきました。

- ・特別時間割を組むなどして、ほかの教科の授業時間を大幅に削ってまで練習をする。
- ・授業以外でも毎日朝練・昼練・放課後練を行う。
- ・見栄えを競うようになり、どんどん演技が派手になり、子どもの実態と合わない。
- ・劇の舞台装飾を何時間もかけて制作し、図工の授業に振り替える。
- ・劇の練習を10時間以上かけて練習するわりに一人当たりの出番が数回しかない。

一つ目の大きな流れは平成30年に文部科学省から各都道府県教育委員会に通知があり、全国で行事の精選が行われました。いわゆる「学校における働き方改革」です。

学校行事の精選や内容の見直し、準備の簡素化を進めるとともに、地域や学校等の実情に応じて、地域が主催する行事と学校行事を合同開催するなど効果的・効率的な実施を検討すること。加えて、理科の野外観察や社会科の見学や観察といった調査活動など、本来、教科等の学習に相当する内容の一部が学校行事として行われている状況があることを踏まえて、カリキュラム・マネジメントの観点から学校行事と教科等の関連性を見直し、従来学校行事とされてきた活動のうち、教科等の指導と位置づけることが適切なものについては、積極的に当該教科等の授業時数に含めることも検討すること。(通知から一部抜粋)

そこで、全国的に大きな変更があったのは次の2つの行事です。

- ・運動会を「1日開催」から「半日開催」へ(子どもと教師の負担軽減)
- ・「学芸会(劇)」を「学習発表会」へ(教科と関連付け)

二つ目の大きな流れはコロナ禍ですべての学校行事ができなくなったとき。そして、コロナが明けたときです。このタイミングでも全国の学校で行事の精選が行われました。

本校では、『劇』の取り組みを軽視してはおりません。学芸的行事として、①練習からいずれかの教科に位置付けることができる内容であること、②過度な練習時間を割く必要がない内容であることという条件をこれまで満たしていたか再検討し、昨年度末に音楽発表会にすることを決めた次第です。ご理解くださいますようよろしくお願いいたします。